

## 東御坊の会「毎月四度の定例会」令和7年度 予定表

	13日	25日	『御文』第●帖▲通	28日	『御伝鈔』上・下巻第●段	
4月	蓮如上人御影道中はいつ頃から始まったのか	吉崎嫁おどしの鬼母を助ける	「五障三従」5-7	画家が見た親鸞聖人（七十歳）	「入西房鑑察」上-8	4月
5月	なぜ、蓮如は吉崎に来たのか	吉崎の御堂再建は祖師の徳	「御命日」3-9	罪人の生活（四十歳）	「師弟流謫」下-1	5月
6月	福井別院の成り立ち	吉崎の本向坊に酒を振る舞う	「末代悪人」5-19	師・法然聖人との別れ（四十二歳）	「稲田興法」下-2	6月
7月	「永代経兼盂蘭盆会」に参加（於：本堂）	吉崎を退去しようとしたが	「其の名ばかり」3-1	山伏の改心（四十二歳）	「弁円済度」下-3	7月
8月	【おつとめ練習】	自然仏という秘事法門	「川尻性光」3-3	京都へ帰る途中で（六十歳ころ）	「箱根靈告」下-4	8月
9月	秋の報恩講について	教に優劣なし、機に優劣あり	「如説修行」3-2	公務で熊野へ参詣する弟子に対して	「熊野靈告」下-5	9月
10月	（休会）	吉崎の報恩講にあたって	「自問自答」1-4	臨終、そして火葬・納骨（親鸞九十歳）	「洛陽遷化」下-6	10月
11月	【おつとめ練習】	【京都本山報恩講参拝】		遺骨移転、そして本願寺に（没後10年）	「廟堂創立」下-7	11月
12月	福井別院と東本願寺の関係	我が妻子に仏法を勧めよ	「お浚え」2-1	（歳末休み）		12月
1月	福井別院と福井教区の違い	正月元旦の御勸化こそ吉事なり	「元朝」5-21	母との別れ（九歳）	「出家学道」上-1	1月
2月	福井別院の体制について	当流の守るべき掟（ルール）	「他力信心」2-6	師・法然聖人との出会い（二十九歳）	「吉水入室」上-2	2月
3月	福井別院の運営と会計について	わが身は悪きいたずら者なり	「五戒」2-7	与えられた道（二十九歳）	「六角夢想」上-3	3月

【日 程】毎月13・22・25・28日とも同じ

13：30～ 勤行（正信偈、念仏讃三淘、次第六首）

14：00～ 上記テーマでお話

（休憩と質問）

15：00 終了予定

【13日】京都・東本願寺の先代門首の御命日

蓮如上人御影道中や吉崎の歴史、東本願寺や福井東別院の仕組みや運営方法などについて、お話しします。

【25日】本願寺8代・蓮如上人の御命日

蓮如上人の書かれた『御文』について、江戸時代の『御文来意鈔』（どのような経緯で80通の御文が書かれたかが紹介されている書物）を読みながら、お話しします。

【28日】宗祖・親鸞聖人の御命日

親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」（絵画部分）の説明と「御伝鈔」（文章部分）の現代語訳をした上で、お話しします。

【22日】聖徳太子の御命日

正信偈・念仏和讃のお勤め練習をします。



福井東別院同朋の会

2025年(令和7年)3月6日

ご門徒 各位

真宗大谷派福井別院  
輪番 篠岡 誓法

## 毎月四度の定例会(ご案内)

ひがしごぼうどうぼう  
— 「東御坊同朋の会」 —

令和7年度も「東御坊同朋の会」は以下のとおり活動いたします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

- ◆ 当別院ご門徒は、どなたでも参加可能です  
もちろん、別院以外のご門徒も参加歓迎です
- ◆ 毎月13日・25日・28日(午後1時30分始)

### 【テーマ】

- 13日 「仏教・宗教なんでも疑問・質問」
- 22日 「お勤め練習」(正信偈・念仏和讃)
- 25日 「蓮如上人の『御文』について」
- 28日 「宗祖・親鸞聖人の生涯について」

※ 好きな日を選んでご参加ください。(複数・全日参加可)

※ 25・28日の定例会の内容は後日、ライブ配信中

- ◆ 具体的な日程と内容の概要は裏面にて
- ◆ 会費は無料です。

### 【お問い合わせ先】

しんしゅうおおたに は ふく い べつ いん ひがしべつ いん

真宗大谷派福井別院(東別院)

(0776) - 21 - 4100 (代)

【日程】 毎月13・22・25・28日とも同じ

13:30～ 勤行(正信偈、念仏讃三洵)

14:00～ 解説(または、お勤め練習)

(休憩と質問)

15:00 終了予定

※ 25・28日はライブ配信中

※ 各日の詳細は、裏面「毎月三度の定例会」予定表を参照ください

【期日】 毎月以下の日に開催

13日 京都・東本願寺の先代門首の御命日

蓮如上人御影道中や吉崎の歴史、東本願寺や福井東別院の仕組みや

運営方法などについて、お話しします。

22日 お勤め練習(正信偈・念仏和讃)

25日 本願寺8代・蓮如上人の御命日

蓮如上人の書かれた『御文』について、江戸時代の『御文来意鈔』

(どのような経緯で80通の御文が書かれたかが紹介されている書

物)を読みながら、お話しします。

28日 宗祖・親鸞聖人の御命日

親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」(絵画部分)の説明と「御伝鈔」

(文章部分)の現代語訳をした上で、お話しします。